

全高長第18号
令和3年6月14日

都道府県校長会教育課程研究担当校長 様

全国高等学校長協会会長 杉本 悦郎
(東京都立小金井北高等学校長)
同 教育課程研究委員長 丸橋 覚
(群馬県立太田高等学校長)

令和3年度 教育課程研究委員会における研究協議主題並びに主題に係る
調査資料作成について (依頼)

全国高等学校長協会(全高長)教育課程研究委員会の研究推進につきましては、日頃から多大なご協力をいただいております、感謝申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する中、令和4年度から年次進行で実施される新学習指導要領に関する研究を一旦中断し、各都道府県における「新型コロナウイルス感染症への対応」について、先進的あるいは特色ある取組を進めている学校の具体例を全国に情報提供することといたしました。ご協力をいただきました各都道府県の皆様には、コロナ禍の中、ご対応をいただきありがとうございました。この場をもちまして、改めて御礼を申し上げます。

今年度は、令和元年度まで進めていた新学習指導要領に関する研究に戻し、改めて、下記の研究協議主題のもとで3つの柱立てをつくり、各都道府県で先進的あるいは特色ある取組をすすめている学校の具体例を全国に情報提供することといたしました。

研究協議主題

「新学習指導要領実施に向けた教育課程の研究」

研究協議主題に添った3つの柱立て

- 1 「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」に関する取組と課題 ~深い学びとICTの活用を中心に~
- 2 「学習評価の充実」に関する取組と課題
- 3 「社会に開かれた教育課程」に関する取組と課題

つきましては、次の質問事項を設定しましたので、別紙「回答例(群馬県)」を参考に、貴都道府県でそれぞれの項目で先進的あるいは特色ある取組をすすめている高等学校等に調査をご依頼します。調査校におかれましては、4ページに記載の「回答の作成に当たってのお願い」に従い、ご回答くださるようお願いいたします。

先進的あるいは特色ある教育課程の実施状況について

- (1) 「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」（～深い学びとICTの活用を中心に～）に関して、貴都道府県で先進的あるいは特色ある取組をすすめている高等学校等を1校以上取り上げ、次のア～イについて具体的な内容をお答えください。なお、①～⑥について特段の記述内容がない場合は、記述しなくて結構です。

ア 取組状況について

- ① 教育課程
(教育課程編成)
(授業展開)
- ② 教員の指導力向上
(教員研修)
(外部人材の活用)
- ③ 校内組織
- ④ 施設設備
- ⑤ 取組の成果の（都道府県）全体への普及・共有方法
- ⑥ その他

イ 今後の課題

- (2) 「学習評価の充実」に関して、貴都道府県で先進的あるいは特色ある取組をすすめている高等学校等を1校以上取り上げ、次のア～イについて具体的な内容をお答えください。なお、①～⑥について特段の記述内容がない場合は、記述しなくて結構です。

ア 取組状況について

- ① 教育課程
(教育課程編成)
(授業展開)
- ② 教員の指導力向上
(教員研修)
(外部人材の活用)
- ③ 校内組織
- ④ 施設設備
- ⑤ 取組の成果の（都道府県）全体への普及・共有方法
- ⑥ その他

イ 今後の課題

(3) 「社会に開かれた教育課程」に関して、貴都道府県で先進的あるいは特色ある取組をすすめている高等学校等を1校以上取り上げ、次のア～イについて具体的な内容をお答えください。なお、①～⑥について特段の記述内容がない場合は、記述しなくて結構です。

ア 取組状況について

- ① 教育課程
(教育課程編成)
(授業展開)
- ② 教員の指導力向上
(教員研修)
(外部人材の活用)
- ③ 校内組織
- ④ 施設設備
- ⑤ 取組の成果の(都道府県)全体への普及・共有方法
- ⑥ その他

イ 今後の課題

回答の作成に当たってのお願い

1 回答の仕方

今回の調査は、教育課程において各都道府県で先進的あるいは特色ある取組をすすめている学校の具体例をもとに、工夫されている点や成果をあげている点を全国に情報提供するとともに、各校のさらなる課題解決に役立てることを目的としています。

回答に当たっては、各都道府県で各調査項目に先進的あるいは特色ある取組をすすめている高等学校に調査依頼をしていただき、それらを各都道府県で取りまとめて回答してください。

なお、群馬県の回答を例として添付していますので、参考にしてください。各高等学校等の回答の最後には、必ずHPのアドレスを掲載していただくようお願いいたします。

2 回答様式

- (1) 回答は、調査項目ごとに各校A 4片面1枚 (MS明朝体で文字サイズ11.0ポイント)とし、群馬県の回答例を下記ホームページからダウンロードして様式としてご利用ください。

全高長URL <http://www.zen-koh-choh.jp/>

(回答は、下記の e-mail アドレスですのでご注意ください。)

- (2) 回答の添付ファイル名は、「**令和3全高長回答(1)(都道府県名)**」としてください。これは、(1)の「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」の例です。(2)と(3)は、これに準じてください。

3 回答送付先

下記の2か所宛、e-mail の添付ファイルにて送信してください。

- (1) 群馬県立太田高等学校長 丸橋 覚 (問合せ 電話 0276-31-7181)

e-mail アドレス marubashi-sat@edu-g.gsn.ed.jp

- (2) 全高長本部事務局 (問合せ 電話 03 - 3580 - 0570)

e-mail アドレス kyoukai@zen-koh-choh.jp

4 回答の締切り

令和3年7月21日(水)

5 その他

- (1) 9月24日(金)の教育課程研究協議会は、Zoomオンライン会議になる予定です。事前に送付する資料のうち、必要な箇所を印刷してご参加ください。
- (2) 7月21日(水)に回答が間に合わない場合は、事前に上記 **3(1)**までご連絡ください。

(3) 都道府県番号及び都道府県名は下の上記の表により、入力してください。

1	北海道	2	青森	3	岩手	4	宮城	5	秋田
6	山形	7	福島	8	茨城	9	栃木	10	群馬
11	埼玉	12	千葉	13	山梨	14	東京	15	神奈川
16	新潟	17	富山	18	石川	19	福井	20	長野
21	静岡	22	愛知	23	岐阜	24	三重	25	滋賀
26	京都	27	大阪	28	兵庫	29	奈良	30	和歌山
31	鳥取	32	島根	33	岡山	34	広島	35	山口
36	徳島	37	香川	38	愛媛	39	高知	40	福岡
41	佐賀	42	長崎	43	熊本	44	大分	45	宮崎
46	鹿児島	47	沖縄						